

## 有識者インタビュー

### 慶応義塾大学 准教授 飯盛義徳氏

日本はファミリービジネスの宝庫と言われており、全体の90%以上が該当するという。ファミリービジネス学会の理事を務める慶応義塾大学総合政策学部の飯盛義徳准教授に、ファミリービジネスの長寿性や地域密着性について聞いた。

飯盛先生ご自身もファミリービジネスの出身者です。

実家は佐賀県教育機関へ図書教材などを企画販売する飯盛教材。今年で創業から43年を迎える。大学院博士課程へ再び入り直すまでは、創業者の父といっしょに7年間組織を率いていた。

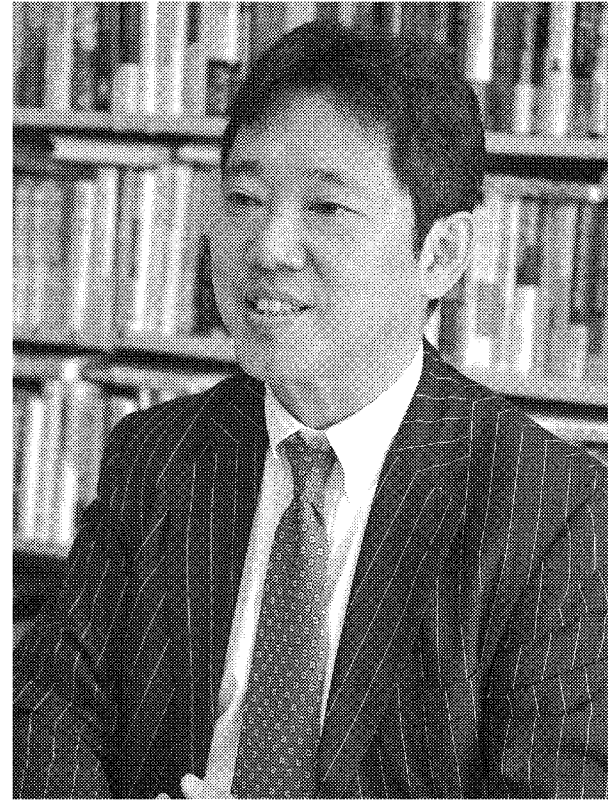
日本はなぜファミリービジネスがこれほど多く残っているとお考えですか。

イノベーション以外にファミリービジネスに共通することは。

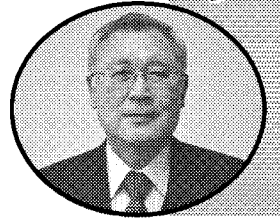
イノベーションを創り出すために具体的にやっていることは。

「新しい知」を取り入れている。一族の継承者を他の企業で修行させてから入社させたり、海外の大学に留学させたりするなど、新しい見識や技術を取り入れるために工夫している。私も家業を継ぐ前は松下電器産業現・パナソニックに勤めていた。そういった異質な知識や情報を内部資源化するプロセスに特徴が見られる。

「新しい知」を入れるためであれば、ファミリービジネスである必要はないのでは。



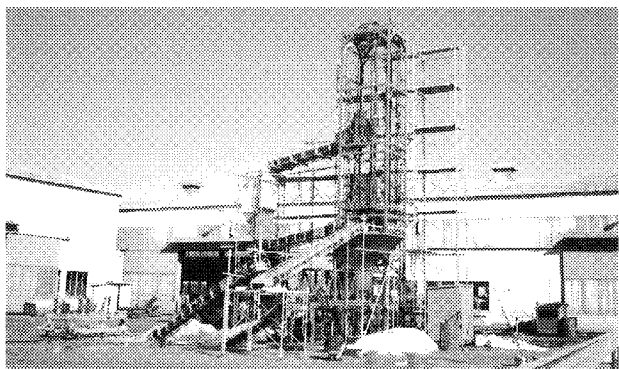
## 堀口エンジニアリング



堀口昇治社長

堀口エンジニアリングは、自動車、建設機械、船舶などのエンジン、クランクシャフトなど各種パーツの修理再生が主力。航空機地上支援機材や産業機械の設計製作など、事業は多岐に渡る。

根底に流れる精神は、「伝統は守るものではなく、創るもの」。同じことを繰り返すのではなく、新たな世代が時代に合った技術を付加し、道を切り開く。産業界の発展に貢献していくという熱い思いを原点に、技術屋集団の挑戦は続く。

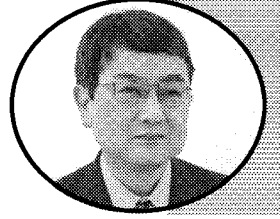


1980年、成田工場で試験中のレシプロコンベア

### 堀口エンジニアリング 株式会社

【代表取締役】堀口昇治 【創業】1947年  
【事業内容】各種内燃機関・車両の製造、修理  
【住所】東京都渋谷区恵比寿西2-1-10  
【TEL】03-3780-1251 【FAX】03-3780-1250  
【URL】http://www.horiguchi-engi.co.jp/

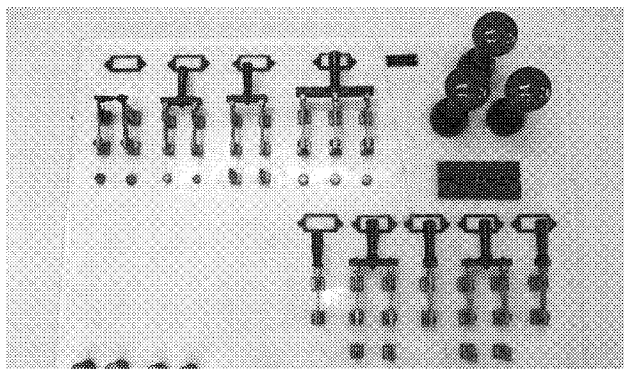
## 勝亦電機製作所



勝亦隆社長

電力の制御、回路や機器の保護を行なう各種の配電盤は、電力の安定供給に欠かせない。配電盤の中で大手が手がける標準品ではなく、顧客ニーズにきめ細かく対応するカスタム盤の製造を主力事業とする老舗企業が、勝亦電機製作所だ。

目指す企業像は「プロのユーザーから高い信頼を継続して得られる組織」。技能レベルの向上によって更に個別性の高いニッチ分野を追求する一方、価格競争力の強化にもチャレンジしている。

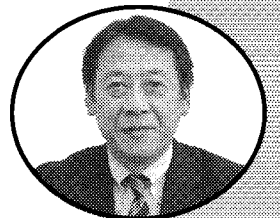


1927年製作の配電盤

### 株式会社 勝亦電機製作所

【代表取締役】勝亦隆 【創業】1916年  
【事業内容】電気機器製造  
【住所】東京都品川区北品川4-10-9  
【TEL】03-3443-1241 【FAX】03-3443-1240  
【URL】http://www.kew.co.jp/

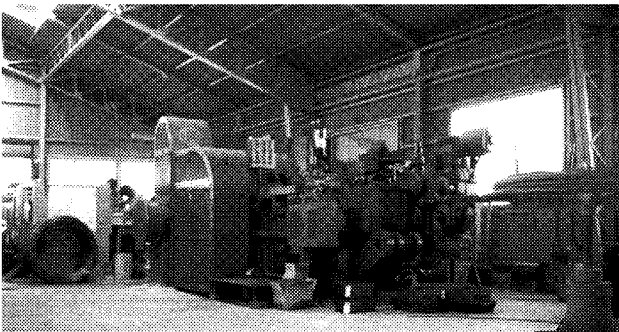
## 大川精螺工業



大川克良社長

大川精螺工業は、特殊加工自動車関連部品の製造を手がける。ブレイキホース口金具などが主力。冷間鍛造やブレイジングなど最新設備・技術を駆使し、高度な機能部品に特化した開発を行う。

電気自動車など自動車分野では技術革新が進み、エンジンやミッション関連の部品需要は減少が避けられない。「革新していくしか道はない。蓄積してきた財産やノウハウは、発想力に必ず表れる」と強みを生かし、研究開発を積極的に進める考えだ。

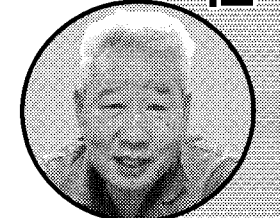


1964年、横浜工場の新設と同時に、日本で初めて米国ウォーターベリー製パーツフォーマーを導入。冷間鍛造加工を開始した。

### 大川精螺工業 株式会社

【代表取締役】大川克良 【創業】1934年  
【事業内容】自動車用・一般用のねじ部品の生産  
【住所】東京都品川区東五反田2-20-4 MY東五反田ビル7F  
【TEL】03-3280-1811 【FAX】03-3280-1820  
【URL】http://www.okawaseira.co.jp/

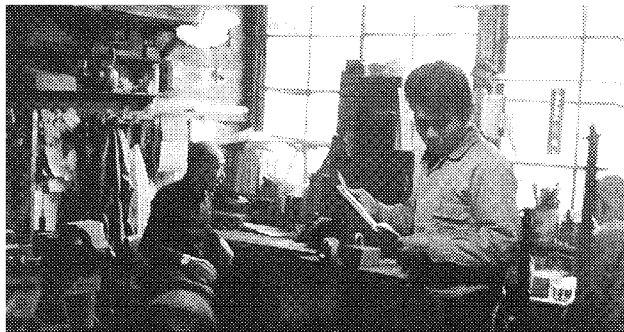
## オリエンタル工芸社



杉本亨社長

オリエンタル工芸社は、押ボタンやホールランタンなどエレベーター部品の開発から製造、組み立てまでを一貫して行っている。創業から常に大手が手を出さないようなすき間「で利益を生み出してきた」。

杉本社長は、「大手の下請けでもあり、自社製品を手がけるメーカーでもあることが強み」と分析。「いつもアンテナを張り続け、何か新しいモノが作れないかと日々アイデアを模索することが大切」と、新しいものを先んじて取り込む貪欲さが、老舗を生むのかもしれない。

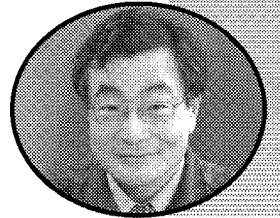


前身の岡松工機製作所の社内

### 株式会社 オリエンタル工芸社

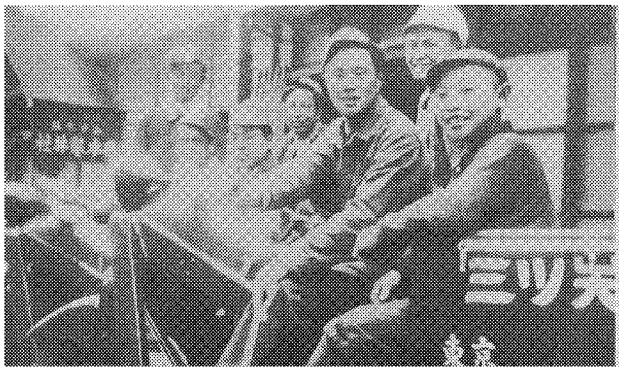
【代表取締役】杉本亨 【創業】1959年  
【事業内容】各種機械部品の製造、販売  
【住所】東京都大田区大森西7-2-5  
【TEL】03-3763-2721 【FAX】03-3763-2621  
【URL】http://www.orientaru.co.jp/

## 三ツ矢



草間誠一郎社長

三ツ矢は、各種貴金属めっきをはじめ、ボンディングに高性能を発揮するニッケルめっきなど、汎用品から特殊品まで幅広く手がける。また電気電子機器や自動車の部品など、研究開発用の少量多品種から量産ものまで対応している。

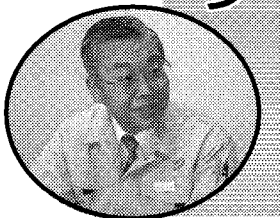


戦後復興期の三ツ矢 五反田本社工場にて

### 株式会社 三ツ矢

【代表取締役】草間誠一郎 【創業】1931年  
【事業内容】めっき加工業  
【住所】東京都品川区西五反田3-8-11  
【TEL】03-3492-7197 【FAX】03-3492-7199  
【URL】http://www.mitsuyanet.co.jp/

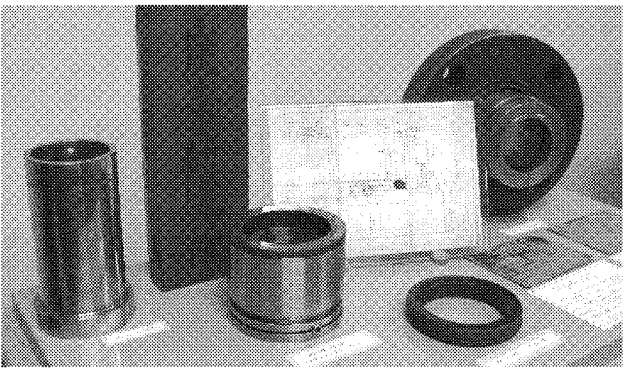
## タンケンシールセーコウ



渡邊敏廣社長

タンケンシールセーコウは、メカニカルシールの専業大手メーカー。メカニカルシール関連事業で売り上げの8割以上を占めるなど、業界にしっかりと根付いたコア事業が強い。また社員の平均年齢は約33歳で、若いパワーで事業を促進している。

4月から中国上海で保守メンテナンス事業を本格稼働。「タンケン(探検)すれば、セーコウ(成功)する」を合言葉に、常に顧客の要望に応える製品づくりを進め、世界のタンケンへ飛躍する。



炭研カーボンが初めて実用に供せられたLPGポンプメカニカルシール

### 株式会社 タンケンシールセーコウ

【代表取締役】渡邊敏廣 【創業】1955年  
【事業内容】メカニカルシール(軸封装置)の製造、販売  
【住所】東京都大田区矢口3-14-15  
【TEL】03-3750-2151 【FAX】03-3750-5171  
【URL】http://www.tankenseal.co.jp/

## 京浜工業所



内田由美子社長

京浜工業所は京浜工業地帯の発祥地、品川を代表する老舗企業である。研削砥石やダイヤモンド工具の専業メーカーとして創業75年を迎える。製造直販の強みを生かし、自動車メーカーを主要取引先に、工作機械、電機、建機などへもシェアを広げている。

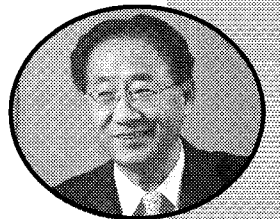


創業当時の製品カタログと現在の本社社屋

### 株式会社 京浜工業所

【代表取締役】内田由美子 【創業】1936年  
【事業内容】研削砥石・ダイヤモンド工具の製造、販売  
【住所】東京都品川区東大井2-13-8  
【TEL】03-3761-2131 【FAX】03-3761-8240  
【URL】http://www.keihin-kogyo.co.jp/

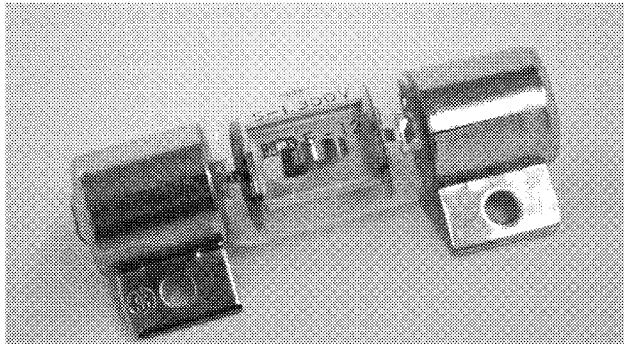
## サンコーシヤ



伊藤眞義社長

サンコーシヤは、通信用保安装置やサージ防護素子・機器の製造・販売が主力。リアルタイム落雷情報の提供や雷観測、コンサルティング業務も手がけ、雷対策の総合的なサービスを展開している。

「迅速確実」を社訓にしながらも、常に新しいテーマに挑戦する社風の構築に力を入れる。時代の変化に「強い企業」ではなく、柔軟に対応できる企業を目指し、需要開拓を国内外で進めている。



サンコーシヤの名が世間に広まるきっかけになったS-1自復避雷管

### 株式会社 サンコーシヤ

【代表取締役】伊藤眞義 【創業】1930年  
【事業内容】電気通信機械の製造、販売  
【住所】東京都品川区大崎4-3-8  
【TEL】03-3491-7181 【FAX】03-3494-7574  
【URL】http://www.sankosha.co.jp/